

# 火災救急救助年報

平成 26 年版



防府市消防本部

# も く じ

## 警防の部

はじめに	1
第1表 防府市消防本部現有消防力	2
第2表 消防機関の出動状況	3

## 火災の部

火災の概況	4
平成26年火災一目統計	4
第3表 火災発生状況（前年との比較）	5
第4表 火災種別月別出火件数	6
第5表 火災種別原因別出火件数	6
第6表 月別り災世帯数及びり災人員	6
第7表 時間帯別原因別出火件数	7
第8表 過去5か年の火災発生状況	8
第9表 地区別火災発生状況	9

## 救急の部

救急の概況	10
平成26年救急一目統計	11
第10表 救急出動件数（総件数）	12
第11表 過去10年間の救急出動状況	13
第12表 事故種別・月別救急出動件数及び搬送人員	14
第13表 事故種別曜日別出動件数	15
第14表 事故種別時間帯別搬送人員	15
第15表 平日・休日別事故種別搬送人員	16
第16表-1 年齢区分別事故種別搬送人員	16
第16表-2 年齢区分別事故種別搬送人員（詳細）	17
第17表 事故種別傷病程度別搬送人員	18
第18表 発生場所別搬送人員	18
第19表 現場到着所要時間別出動件数	19
第20表 収容所要時間別搬送人員	19
第21表 救急隊員の行った応急処置数	20
第22表-1 収容医療機関別搬送人員	21
第22表-2 救急医療体制施設別搬送人員	21
第23表 事故種別診療科目別搬送人員	22
第24表 署所別出動件数及び搬送人員	22

## 救助の部

救助の概況	23
平成26年救助一目統計	23
第26表 事故種別救助活動の状況	24
第27表 発生場所別救助活動の状況	24
第28表 事故種別出動車両の状況	25
第29表 事故種別出動件数・救助人員の状況	25
第30表 過去5年間の救助出動状況	26

# 警 防 の 部

## は じ め に

この年報は、平成26年（1月～12月）における防府市消防本部管轄内の消防現勢及び火災・救急・救助活動等の消防業務について、その状況をまとめたものです。

※ 防府市消防本部管轄内の市勢  
(平成27年1月1日現在)

防府市（平成26年度消防費1,217,255千円）

人	口	118,356	人
面	積	188.59	km <sup>2</sup>
世	帯	数	54,944 世帯

第1表 防府市消防本部現有消防力（平成27年1月1日現在）

(1) 消防職員及び消防団員数

消 防 職 員	定数	154人	消 防 団 員	定数	408人
	実数	129人		実数	396人

(2) 消防隊組織

消 防 隊	常 備 消 防	1本部・1署・2出張所
	非 常 備 消 防（ 団 ）	1団本部・13分団
	私 設 消 防 隊	防火重点地域29隊（女性消防隊2含む） 周辺地域及び離島10隊（女性消防隊1含む）

(3) 消防用車両等

種 別 \ 所 有 別	合 計	本 部 署	消 防 団	事 業 所 消 防 隊	私 設 消 防 隊
合 計	82	35	16	17	14
消 防 ポ ン プ 自 動 車	14	4	7	3	
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	3	3			
化 学 消 防 車	8	3		5	
は し ご 自 動 車	1	1			
小 型 動 力 ポ ン プ	23	6	3		14
救 急 自 動 車	11	4		7	
救 助 工 作 車	1	1			
小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車	1	1			
小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	7		6	1	
指 令 車	1	1			
資 機 材 搬 送 車	2	2			
泡 原 液 搬 送 車	1			1	
そ の 他 の 車 両	9	9			

(4) 消防水利

消 火 栓	公 設	1,743	防 火 水 槽	公 設	154
	私 設	72		私 設	161

第2表 消防機関の出動状況

署・団別 出動区分	合 計	署		団	
	出 動 人 員	出 動 件 数	出 動 人 員	出 動 件 数	出 動 人 員
合 計	21,170	5,774	18,347	88	2,823
火 災	1,027	41	720	23	307
救 急	12,651	4,217	12,651		
救 助	561	38	561		
風 水 害	0				
演 習 ・ 訓 練	2,406	19	289	55	2,117
広 報 ・ 指 導	251	86	251		
警 防 調 査	379	122	379		
火 災 調 査	212	44	212		
特 別 警 戒	466	13	124	8	342
捜 索	91	2	34	2	57
予 防 査 察	2,414	1,107	2,414		
そ の 他	363	63	363		
支 援 出 動	790	250	790		
誤 報 等	349	22	349		

## 火 災 の 部

### ◎ 火災の概況

#### 1 管内の火災件数は前年を下回る

平成26年の火災発生件数は41件であった。前年の火災発生件数（49件）と比較して8件の減である。

その内訳は、平成25年の建物火災28件、林野火災 1件、車両火災 3件、船舶火災 0件  
その他火災17件に対して、平成26年は建物火災22件（ 6件減）、林野火災 1件（増減無）、車両火災 7件（ 4件増）、船舶火災 0件（増減無）、その他火災11件（ 6件減）となっている。

#### 2 損害額は減少

平成26年の火災による損害額は36,275千円で、前年の103,448千円と比較して67,173千円の減となっている。

なお、建物火災の損害額は22,397千円で、損害額全体の61.7%を占めている。

#### 3 出火原因の内訳

平成26年の主な出火原因は、「たばこ」「こんろ」「放火」が各 5件、次いで「溶接機切断機」が 4件と上位を占めた。

#### 4 火災による死傷者

火災による死傷者は、死者 3人、負傷者3人となっている。

### 平 成 2 6 年 火 災 一 目 統 計

火災件数	41 件	(平成25年	49 件)
火災損害額	36,275 千円	(平成25年	103,448 千円)
焼損建物棟数	32 棟	(平成25年	50 棟)
建物焼損床面積	511 m <sup>2</sup>	(平成25年	1,172 m <sup>2</sup> )
死者数	3 人	(平成25年	4 人)
負傷者数	3 人	(平成25年	10 人)
り災世帯数	11 世帯	(平成25年	22 世帯)
り災人員	29 人	(平成25年	47 人)
出火率	3.5 ポイント	(平成25年	4.2 ポイント)

(※ 出火率とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。)

第3表 火災発生状況（前年との比較）

区 分	年 別	単 位	平成25年	平成26年	増・減
火 災 件 数	合 計	件	49	41	▲ 8
	建 物	件	28	22	▲ 6
	林 野	件	1	1	0
	車 両	件	3	7	4
	船 舶	件	0	0	0
	その他	件	17	11	▲ 6
	損害額	千円	103,448	36,275	▲ 67,173
焼 損 棟 数	合 計	棟	50	32	▲ 18
	全 焼	棟	12	6	▲ 6
	半 焼	棟	6	2	▲ 4
	部分焼	棟	20	9	▲ 11
	ぼ や	棟	12	15	3
建 物 被 害	床面積	m <sup>2</sup>	1,172	511	▲ 661
	表面積	m <sup>2</sup>	3,693	5	▲ 3,688
	損害額	千円	97,421	22,397	▲ 75,024
り 災	世帯	世帯	22	11	▲ 11
	人員	人	47	29	▲ 18
人 的 被 害	死者	人	4	3	▲ 1
	負傷者	人	10	3	▲ 7
林野被害		a	4	30	26

第4表 火災種別月別出火件数

月別 種別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	41	2	4	3	6	4	2	4	4	5	4	2	1
建物	22	1	2	2	5	1	1	2	1	1	3	2	1
林野	1					1							
車両	7	1				1			3	2			
船舶	0												
その他	11		2	1	1	1	1	2		2	1		

第5表 火災種別原因別出火件数

原因別 種別	合計	たばこ	こんろ	焼却炉	ストーブ	煙突・煙道	排気管	電気機器	等電線の配線	電灯・電話配線器具	火あそび	切断機	溶接機	たき火	灯火	放火	放火の疑い	その他	調査不明
合計	41	5	5	0	1	0	0	2	0	2	1	4	3	1	5	2	6	4	
建物	22	2	5		1			1		1	1	3		1	2		3	2	
林野	1																		1
車両	7							1		1		1				1		2	1
船舶	0																		
その他	11	3											3			2	2	1	

第6表 月別り災世帯数及びり災人員

月別 種別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
合計	世帯数	11	1	2	1	1	1	0	2	1	0	1	1	0
	人員	29	3	6	2	1	2		10	2		1	2	
全損	世帯数	3	1	1								1		
半損	世帯数	2				1				1				
小損	世帯数	6		1	1		1		2				1	

全損： 建物（収容物を含む。以下半損、小損において同じ）の火災損害額がり災前の評価額の70%以上のものをいう。

半損： 建物の火災損害額が、り災前の建物評価額の20%以上で全損に該当しないものをいう。

小損： 建物の火災損害額が、り災前の建物評価額の20%未満をいう。



第7表 時間帯別原因別出火件数

原因	時間帯	合計	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	時間不明
			2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	
合計		41	2	1	1	3	2	10	2	10	4	2	1	3	0
たばこ		5		1				1		1	1		1		
こんろ		5						2	1	1		1			
かまど		0													
風呂かまど		0													
炉		0													
焼却炉		0													
ストーブ		1			1										
こたつ		0													
ボイラー		0													
煙突・煙道		0													
排気管		0													
電気機器		2				1	1								
電気装置		0													
電灯・電話等の配線		0													
内燃機関		0													
配線器具		2				1	1								
火あそび		1								1					
マッチ・ライター		0													
たき火		3								3					
溶接機・切断機		4						2		2					
灯火		1								1					
衝突の火花		0													
取灰		0													
火入れ		0													
放火		5				1		1		1				2	
放火の疑い		2									1			1	
その他		6	2					3			1				
不明・調査中		4						1	1		1	1			

第8表 過去5か年の火災発生状況

区 分		年 別				
		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
火 災 件 数	合 計	66	40	50	49	41
	建 物	29	21	23	28	22
	林 野	3	1	0	1	1
	車 両	8	5	6	3	7
	船 舶	1	0	0	0	0
	そ の 他	25	13	21	17	11
損 害 額 (千円)	合 計	89,272	76,423	70,846	103,448	36,275
	建 物	84,455	70,309	63,094	97,421	22,397
	林 野	0	0	0	0	0
	車 両	4,191	6,114	7,731	6,009	13,871
	船 舶	77	0	0	0	0
	そ の 他	549	0	21	18	7
建物焼損床面積 (m <sup>2</sup> )		1,244	1,414	1,003	1,172	511
建物焼損表面積 (m <sup>2</sup> )		996	104	47	3,693	5
林野焼損面積 (a)		7	0	0	4	30
り 災 世 帯 数		23	21	18	22	11
り 災 人 員		49	60	41	47	29
死 者		2	3	2	4	3
負 傷 者		9	2	5	10	3

平成22年3月31日まで、山口市秋穂区域の消防事務を受託  
 平成23年3月31日まで、山口市徳地区域の消防事務を受託

第9表 地区別火災発生状況

火災種別 地区別	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	損害額 (千円)
合 計	41	22	1	7	0	11	36,275
宮 市	5	3				2	574
三 田 尻	2	2					1,895
華 陽	14	10		2		2	13,869
華 城	4	3		1			74
牟 礼	5	2				3	5,716
向 島	0						0
野 島	0						0
西 浦	1			1			75
大 道	2			1		1	50
右 田	3			2		1	13,450
玉 祖	3	1	1			1	67
富 海	1					1	0
小 野	1	1					505

## 救 急 の 部

### ◎ 救急の概況

#### 1 出動件数及び搬送人員

総出動件数は、4,217件、搬送人員は3,899人で、昨年比べて出動件数が88件の減、搬送人員は128人の減となった。

#### 2 事故種別搬送人員では急病が1位

事故種別搬送人員は例年と同様に急病が2,318人でトップとなり、全搬送人員3,899人に占める割合の59.5%と昨年の59.3%より0.2%増となった。次いで一般負傷651人（16.7%）、交通事故408人（10.5%）と続いている。

#### 3 全搬送人員の半数以上が60歳以上

搬送人員を年齢別で見ると、60歳代576人（14.8%）、70歳代839人（21.5%）、80歳代以上が1,247人（32%）と全体の半数以上の68.3%を占めている。

#### 4 救急救命士及び高規格救急車の運用

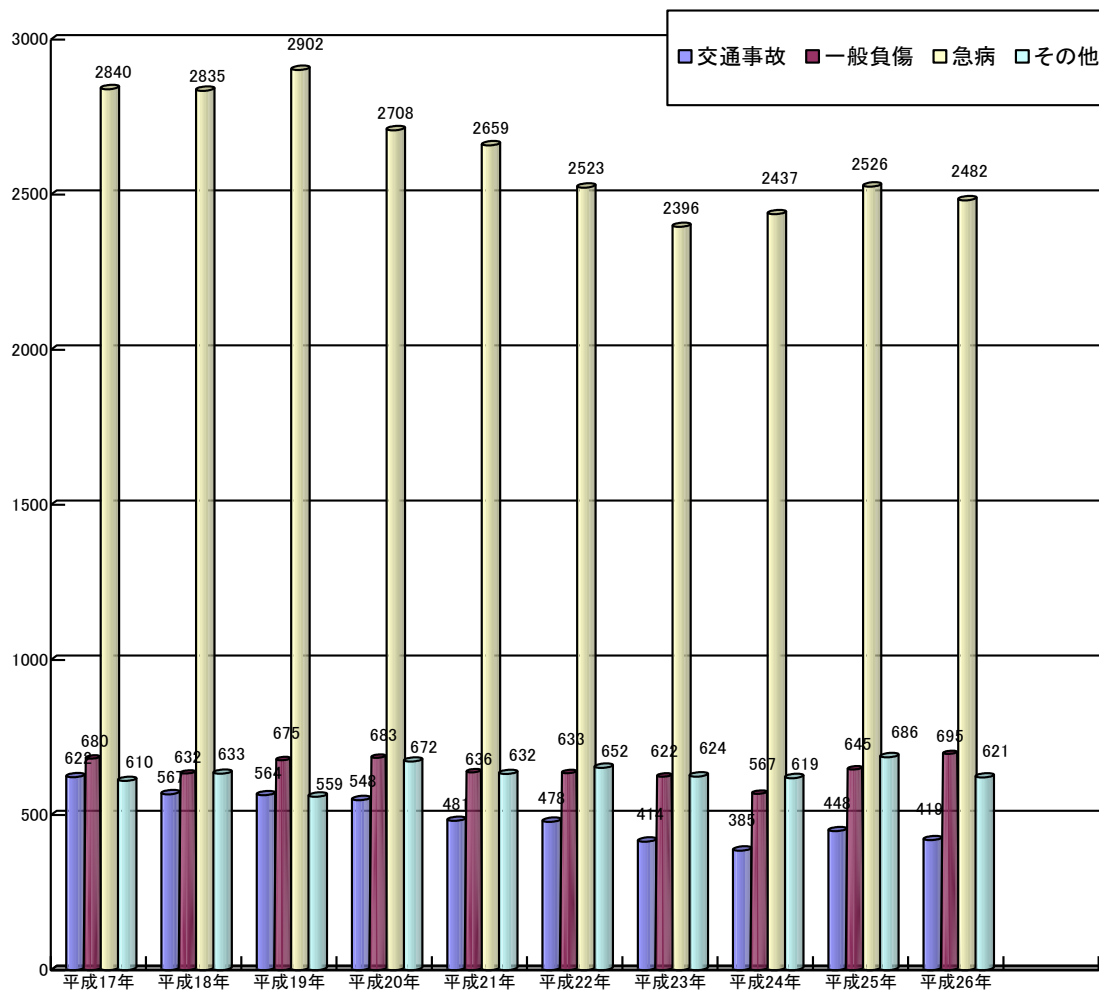
平成26年に、救急救命士が医師の指示に基づく救命処置等を実施した傷病者は103人で、全搬送人員の割合では、2.6%である。

救命処置等の内訳は、器具を使用した気道確保83件（うち気管挿管65件）、輸液路確保72件、除細動6件、薬剤投与66回であった。

平成26年現在、救急現場で気管挿管が行える救急救命士が22人、薬剤投与が行える救急救命士が25人となっている。



第10表 救急出動件数（総件数）



第11表 過去10年間の救急出動状況

年別 事故種別	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
合 計	4,752	4,667	4,700	4,609	4,408	4,289	4,056	4,008	4,305	4,217
火 災	4	4	4	5	6	4	3	4	8	2
自然災害	1				22				1	
水 難	6	2	5		4	5	2	5	3	3
交通事故	622	567	564	548	481	478	414	385	448	419
労働災害	51	47	39	61	38	35	40	37	23	28
運動競技	52	59	56	60	55	53	63	42	66	51
一般負傷	680	632	675	683	636	633	622	567	645	695
加 害	36	33	24	24	18	19	26	22	27	19
自損行為	76	57	72	71	67	66	54	68	63	39
急 病	2,840	2,835	2,902	2,708	2,659	2,523	2,396	2,437	2,526	2,482
そ の 他	384	431	359	449	422	473	436	441	495	479

平成22年3月31日まで、山口市秋穂区域の消防事務を受託

平成23年3月31日まで、山口市徳地区域の消防事務を受託

第12表 事故種別・月別救急出動件数及び搬送人員

事故種別		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
月 別													
合計	件数	4,217	2	0	3	419	28	51	695	19	39	2,482	479
	人員	3,899	1	0	1	408	28	54	651	17	26	2,318	395
1月	件数	330				36	1		50		1	212	30
	人員	310				35	1		48		1	199	26
2月	件数	322				20	3	4	52		9	197	37
	人員	296				21	3	4	46		8	183	31
3月	件数	390			1	39	3	3	67	1	6	221	49
	人員	357				34	3	3	61	2	5	205	44
4月	件数	327	1			37	3	5	57		1	184	39
	人員	307	1			36	3	6	56		1	174	30
5月	件数	335				29	3	9	47	1		212	34
	人員	324				27	3	9	47			207	31
6月	件数	323				39	3	6	53	3	4	178	37
	人員	290				36	3	6	47	3	2	165	28
7月	件数	340	1		1	26	6	5	55	1	4	202	39
	人員	312			1	24	6	5	53	1	2	191	29
8月	件数	397			1	40	2	2	67	4	5	224	52
	人員	371				46	2	2	61	4	1	212	43
9月	件数	302				31		5	47	3	2	173	41
	人員	279				26		6	46	3	1	164	33
10月	件数	367				38	2	8	71	1	1	207	39
	人員	348				41	2	9	66	1	1	194	34
11月	件数	359				37	2	2	56	2	1	217	42
	人員	327				36	2	2	52	1	1	197	36
12月	件数	425				47		2	73	3	5	255	40
	人員	378				46		2	68	2	3	227	30



第13表 事故種別曜日別出動件数

曜日 区分	合計	月	火	水	木	金	土	日
合計	4,217	618	625	575	570	607	629	593
火災	2		2					
自然災害	0							
水難事故	3	1		1			1	
交通事故	419	51	69	47	56	72	71	53
労働災害	28	2	5	5	6	5	4	1
運動競技	51	7	4	6	4	3	12	15
一般負傷	695	109	106	88	86	102	112	92
加害	19	2	3	4	1	2	2	5
自損事故	39	7	6	6	4	6	5	5
急病	2,482	359	350	344	356	338	356	379
その他	479	80	80	74	57	79	66	43

第14表 事故種別時間帯別搬送人員

事故種別 時間帯	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	3,899	1	0	1	408	28	54	651	17	26	2,318	395
0～2	179				8			25	1	4	127	14
2～4	143				8			21	4	1	105	4
4～6	154				6			26	2	2	111	7
6～8	310				37	1		60	1	1	206	4
8～10	456			1	38	5	4	89		2	256	61
10～12	486				46	6	16	85		4	243	86
12～14	445	1			50	8	14	62	1	2	225	82
14～16	383				54	1	10	68	1	2	200	47
16～18	394				51	4	8	76	1		215	39
18～20	421				70	3	1	57	1	1	255	33
20～22	318				28		1	43	2	3	229	12
22～24	210				12			39	3	4	146	6

第15表 平日・休日別事故種別搬送人員

事故種別 区分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	3,899	1	0	1	408	28	54	651	17	26	2,318	395
平 日	3,202	1		1	344	27	35	529	11	22	1,874	358
休 日	697				64	1	19	122	6	4	444	37

第16表-1 年齢区分別事故種別搬送人員

事故種別 年齢区分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	3,899	1	0	1	408	28	54	651	17	26	2,318	395
新 生 児	5										2	3
乳 幼 児	125				11			30			72	12
少 年	159				56		23	24	1	1	49	5
成 人	1,208	1			209	24	30	115	12	18	681	118
老 人	2,402			1	132	4	1	482	4	7	1,514	257

凡 例

- 新生児 : 生後28日未満の者
- 乳幼児 : 生後28日以上満7歳未満の者
- 少年 : 満7歳以上満18歳未満の者
- 成人 : 満18歳以上満65歳未満の者
- 老人 : 満65歳以上の者

第16表-2 年齢区分別事故種別搬送人員（詳細）

事故種別		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
年齢区分													
合 計	計	3,899	1	0	1	408	28	54	651	17	26	2,318	395
	男	1,983	1	0	1	237	24	44	297	11	15	1,186	167
	女	1,916	0	0	0	171	4	10	354	6	11	1,132	228
0 ~ 9	計	166				24			39			86	17
	男	103				11			33			47	12
	女	63				13			6			39	5
10 ~ 19	計	150				53		24	16	1	4	47	5
	男	90				36		18	9	1	2	22	2
	女	60				17		6	7		2	25	3
20 ~ 29	計	208	1			46	6	6	13	5	3	97	31
	男	116	1			32	5	4	7	4	2	56	5
	女	92				14	1	2	6	1	1	41	26
30 ~ 39	計	199				38	5	12	10		4	104	26
	男	106				25	5	12	5		1	53	5
	女	93				13			5		3	51	21
40 ~ 49	計	260				44	4	10	28	4	5	147	18
	男	148				29	2	9	13	3	3	83	6
	女	112				15	2	1	15	1	2	64	12
50 ~ 59	計	254				47	6	1	31	1		147	21
	男	141				26	5	1	16			82	11
	女	113				21	1		15	1		65	10
60 ~ 69	計	576				64	5		83	4	4	367	49
	男	332				27	5		46	1	4	221	28
	女	244				37			37	3		146	21
70 ~ 79	計	839			1	56	2	1	153	1	6	523	96
	男	463			1	30	2		77	1	3	296	53
	女	376				26		1	76		3	227	43
80歳以上	計	1,247				36			278	1		800	132
	男	484				21			91	1		326	45
	女	763				15			187			474	87

第17表 事故種別傷病程度別搬送人員

種別 区分	傷 病 程 度 区 分					
	合 計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
合 計	3,899	83	215	1,800	1,801	0
火 災	1				1	
自 然 災 害	0					
水 難 事 故	1	1				
交 通 事 故	408	2	8	122	276	
労 働 災 害	28	1	1	13	13	
運 動 競 技	54			18	36	
一 般 負 傷	651	7	19	331	294	
加 害	17			4	13	
自 損 行 為	26	4	4	7	11	
急 病	2,318	66	127	1,018	1,107	
そ の 他	395	2	56	287	50	

凡 例

- 死 亡 : 初診時において、死亡が確認されたもの
- 重 症 : 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- 中 等 症 : 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
- 軽 症 : 傷病の程度が入院を必要としないもの
- そ の 他 : 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

第18表 発生場所別搬送人員

発生場所 区分	合 計					
	住 宅	公 衆 出 入 場 所	仕 事 場	道 路	そ の 他	
合 計	2,184	1,041	87	533	54	
急 病	1,717	451	57	80	13	
交 通 事 故	4	19		373	12	
一 般 負 傷	426	122	5	74	24	
そ の 他	37	449	25	6	5	

第19表 現場到着所要時間別出動件数

区分 事故種別	合計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上
合計	4,217	21	587	2,934	668	7
急病	2,482	10	282	1,752	435	3
交通事故	419	4	85	277	52	1
一般負傷	695	2	88	481	124	
その他	621	5	132	424	57	3

第20表 収容所要時間別搬送人員

区分 事故種別	合計	10分 未満	10分 以上 20分 未満	20分 以上 30分 未満	30分 以上 60分 未満	60分 以上 120分 未満	120分 以上	平均 所要 時間 (分)
合計	3,899	1	461	1,980	1,421	36	0	
急病	2,318	1	190	1,208	900	19		28.6
交通事故	408		71	193	144			26.8
一般負傷	651		60	306	283	2		29.2
その他	522		140	273	94	15		25.6

※覚知から病院収容までの所要時間

第21表 救急隊員の行った応急処置数

処 置		事故種別		合 計	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
		止	固					
処置件数合計				11,313	6,936	1,150	1,787	1,440
止 血				95	15	19	53	8
固 定				214	5	122	60	27
人工呼吸				10	8		1	1
心臓マッサージ				1			1	
うち自動				0				
心肺蘇生				101	71	2	18	10
うち自動				0				
酸素吸入				677	500	16	30	131
気道確保				139	103	2	22	12
保 温				111	11	52	35	13
被 覆				288	4	93	161	30
そ の 他				5	3		1	1
拡	在宅療法	点 滴		0				
		外 瘻		1				1
		そ の 他		10	10			
大	喉頭鏡・鉗子			8	2		4	2
	経鼻エアウェイ			4	4			
	ショックパンツ			0				
応	血 圧 測 定			3,649	2,180	387	602	480
	聴 診 器			499	381	30	47	41
	血中酸素飽和度			3,757	2,239	396	624	498
急	心 電 図			1,517	1,241	29	88	159
	措	除 細 動		6	6			
		静脈路確保		72	48	1	13	10
		薬 剤 投 与		66	44	1	13	8
		ラリングアル等		18	12		4	2
		気 管 挿 管		65	49		10	6

第22表-1 収容医療機関別搬送人員

告示別	事故種別 開設主体別		合 計	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
	合 計						
	合 計		3,899	2,318	408	651	522
救急告示医療機関	国立		16	2			14
	公立		1,997	1,276	107	232	382
	公 的		11	6			5
	私 的	病 院	1,775	965	295	403	112
		診 療 所	0				
	小 計		3,799	2,249	402	635	513
その他医療機関	国立		0				
	公立		0				
	公 的		0				
	私 的	病 院	38	26		4	8
		診 療 所	62	43	6	12	1
	小 計		100	69	6	16	9
その他の場所			0				

※ その他の場所 : 整骨院等や医療機関へ収容する目的でヘリポート等へ中継搬送した場合をいう。(ドクターヘリを使用した場合を除く。)

第22表-2 救急医療体制施設別搬送人員

区 分	傷病程度		死 亡	重 症	中等症	軽 症	そ の 他
	合 計						
合 計		3,791	83	212	1,754	1,742	0
二次救急医療施設		1,798	2	2	863	931	
三次救急医療施設		1,993	81	210	891	811	

第23表 事故種別診療科目別搬送人員

事故種別 診療科目	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	3,899	1	0	1	408	28	54	651	17	26	2,318	395
内 科	1,627				5	2	1	44	1	7	1,437	130
消化器科	106							4			74	28
循環器科	158							2			115	41
精 神 科	33				3			1		2	22	5
小 児 科	120							8			95	17
外 科	413				104	4	8	144	10		115	28
整形外科	746				254	13	39	337	3	4	67	29
脳 外 科	234				20	2	5	63	1		115	28
産婦人科	55							1			16	38
救 急 科	129			1	15	2	1	22		8	72	8
皮 膚 科	11	1						3			6	1
泌尿器科	49							3			34	12
耳 鼻 科	76							2			60	14
眼 科	2							2				
そ の 他	140				7	5		15	2	5	90	16

第24表 署所別出動件数及び搬送人員

事故種別 署所別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	
合 計	件数	4,217	2	0	3	419	28	51	695	19	39	2,482	479
	人員	3,899	1	0	1	408	28	54	651	17	26	2,318	395
本 署	件数	2,464	2		2	232	15	37	394	16	22	1,382	362
	人員	2,265	1			223	15	40	367	15	14	1,279	311
南出張所	件数	900			1	91	5	14	153	2	7	557	70
	人員	833			1	86	5	14	141	2	5	525	54
東出張所	件数	853				96	8		148	1	10	543	47
	人員	801				99	8		143		7	514	30



## 救 助 の 部

消防機関の行う救助活動とは、火災、労働災害、破裂事故、水難事故等や特殊災害現場で人力や機械力等を用いて、その危険を排除し安全な場所に救助する活動である。

### ◎ 救助の概要

#### 1 救助出動は交通事故が第1位

救助出動全件数38件のうち、交通事故による出動が25件で、約66%を占めている。

#### 2 救助隊数・救助隊員数・車両数・保有資機材について

救助隊は本署に1隊1台配置され、隔日勤務の専任隊員8人が配属されている。

救助工作車には、油圧式のスプレッダーやカッター及びクレーン等、要救助者を迅速に救出するための資機材を積載している。

### 平成 26年 救 助 一 目 統 計

救助出動は、38件	(平成25年	38 件)
救助出動車両等は、延べ186台	(平成25年	176 台)
救助された人数は、22人	(平成25年	20 人)
救助出動場所が多いのは、道路で20件	(平成25年	21 件)
救助出動種別が多いのは、交通事故で25件	(平成25年	25 件)



第28表 事故種別出動車両の状況

区分	事故種別	合計	火	交	水	風	機	建	ガ	破	そ
			災	通	難	水	械	物	ス	裂	の
		計	災	故	事	害	による	等による	及	事	他
合計		186	0	119	20	0	0	0	0	0	47
救助工作車		37		25	2						10
消防ポンプ自動車		32		20	4						8
はしご自動車		0									
化学消防車		39		26	3						10
指揮車・指令車		29		21	1						7
救急自動車		38		26	2						10
船 船		0									
ヘリコプター		0									
その他		9		1	6						2
消防団車両		2			2						

第29表 事故種別出動件数・救助人員の状況

年別	区分	合計	火	交	水	風	機	建	ガ	破	そ
			災	通	難	水	械	物	ス	裂	の
		計	災	故	事	害	による	等による	及	事	他
H26	出動件数	38		25	2						11
	救助人員	23		11	2						10
H25	出動件数	38		25	5						8
	救助人員	20		14	1						5
増・減	出動件数	0	0	0	▲ 3	0	0	0	0	0	3
	救助人員	3	0	▲ 3	1	0	0	0	0	0	5

第30表 過去5年間の救助出動状況

事故種別		年 別				
		平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
合 計	出動件数	50	28	42	38	38
	活動件数	36	15	22	18	23
	救助人員	63	27	26	20	22
火 災	出動件数					
	活動件数					
	救助人員					
交 通 事 故	出動件数	35	15	26	25	25
	活動件数	24	7	11	12	11
	救助人員	48	16	15	14	11
水 難 事 故	出動件数	4	2	5	5	2
	活動件数	3	2	4	2	2
	救助人員	2	2	4	1	2
自然災害事故	出動件数	1				
	活動件数	1				
	救助人員	3				
機械による事故	出動件数			2		
	活動件数			2		
	救助人員			2		
建物等による事故	出動件数	1	3			
	活動件数	1	3			
	救助人員	1	3			
ガス及び酸欠事故	出動件数					
	活動件数					
	救助人員					
そ の 他	出動件数	9	8	9	8	11
	活動件数	7	3	5	4	10
	救助人員	9	6	5	5	9

平成22年3月31日まで、山口市秋穂区域の消防事務を受託  
 平成23年3月31日まで、山口市徳地区域の消防事務を受託